

# 草加市倫理法人会(1月) モーニングセミナー報告

自分が変わる。  
会社が良くなる。  
不況に負けない。

## 一月七日(木) 第九三三回

◇・講師 内田 喜啓

埼玉県倫理法人会 会長

(有)ウチダ総合福祉 取締役

◇・テーマ 「事業繁栄、更なる新に挑め」



早川 純一 記

一年最初のモーニングセミナーに草加に呼んで頂いて光栄だ。いろいろな単会からお呼びがかかるが元氣な草加だから来させて頂いた。倫理の醍醐味は「魂に響くハイ！」の返事そして本日のテーマである「新」に挑んで行く。「新」に挑むというのは決して新しいことをするという事ではない。今やっていることに磨きをかけるとのことだ。私は市議会議員を二十年務めた。倫理は三十二年やっている。障害者の支援は四十四年やっている。これからも「更なる新」知的障害者のためのホームづくりに一生挑んでゆく！生涯現役で・・・。

## 一月十四日(木) 第九三四回

◇・講師 川辺 洋一

(一社)倫理研究所 法人レクチャラー  
(有) ケントアイ 代表取締役

◇・テーマ 「一点集中」



自分が経営する学習塾の経営危機・・・これが倫理法人会入会のきっかけだった。「儲かるなら入るよ」と動機は単純だった。最初の五、六年は儲からなかったが、その後順調にゆくと生徒がお金に見えだし、妻、社員の話が聞かなくなってくる。やがて社員がひとり、またひとり辞めていった。そんなある日、妻から「トイレ清掃に行つて」と言われた。公衆トイレを素手で洗いな

がらいろいろな事を考える。トイレの黄ばみをとるのは「一点集中」でやる必要がある、これは何にでもいえること。仕事も家庭も、周りのあれこれを気にしないで「一点集中」でやればよいということに気づいた。倫理を通じてこれからも自分というブランドを作つて行こうと思つている。

早川 純一 記



## 一月二十一日(木) 第九三五回

◇・講師 増田 彰司

(一社)倫理研究所 法人アドバイザー  
増田運輸(株) 代表取締役 会長

◇・テーマ 「継続は力なり」



昭和四十四年より、食品関係の運送業を本社習志野市で営んでいる。千葉県の滝口長太郎氏から倫理法人会の入会のお誘いを受けた。入会したら、いきなり習志野市の会長職になっていた。良い人には良い話がある、悪い人には悪い話がある。倫理法人会は社員作り・家庭作り・地域作りの実践の場であると考えられる。モーニングセミナーは、年齢や学歴を捨てて身分を捨てて、一時間勉強する場である。また、他人の話を聞いて悶々とした悩みが半分減り喜びが半分湧いてくる時間である。社長たる者、週に一度は勉強しないと社会から取り残されてしまう。昨今、家庭崩壊が始まっている。明るい家庭を築く必要に迫られている。野口英世や宮沢賢治の実家には、明るい家庭作りの礎が残っている。よく社員の結婚式に招かれる。その時社員には二人揃って両家の両親と各々の墓参をする事を条件にする。墓前で両親を交えて家庭の礎の誓いを立ててもらおう。

坪井 明 記

## 一月二十八日(木) 第九三六回

◇・講師 河合 純一

草加市倫理法人会 会員  
リベレステ(株) 代表取締役

◇・テーマ 「競走馬について」



草加市倫理法人会に入会して3年、ほとんど出席出来ないで申し訳ない。賭け事に絶対はない！仕事こそ絶対だと思ふ。賭け事で損をしたが、もし逆に儲かっていたら今の私はなかったかもしれない。私は馬主になるという夢を実現した。馬主になったおかげで大きなネットワークができた。それが仕事に大変役立っている。競馬は趣味、趣味で作ったネットワー本業は絶対の自信がある。本業の仕事で儲けているので趣味ではお金を使う。競馬、馬主というリスクの多い趣味だが、その分、仕事の励みになる。夢を持つのが大事なことで、皆さん、夢をもちましよう！

早川 純一 記

